



つゝじヶ丘だより東京

つゝじヶ丘同窓会東京支部会報



発行 函館西高等学校つゝじヶ丘同窓会東京支部 会長 佐々木 太郎
〒136-0072 東京都江東区大島 8-41-15-215 TEL・FAX 03-5609-9881
メールアドレス <jimu@td-tokyo.com>

印刷所 株式会社 サンビプロダクトセンター 題字 細見 紀子(14 回生)

ホームページURL; <http://www.td-tokyo.com>

開校 110 年を迎える 母校への応援を

会長 佐々木 太郎



先日、函館の五島軒で行われた今年度の同窓会総会に出席してまいりました。

前に現役の生徒による吹奏楽の演奏、吹奏楽をバックにバトントワリングと書道のパフォーマンスが行われ、総会出席者を楽しませてくれました。昔に比べると在校生の人数は減りましたが、クラブ活動や対外活動はより盛んになっている感じがいたします。そして同窓会とPTA、教職員と生徒が一体となって西高の盛り上げに頑張っております。また、函館に行ったついでに、市内の比較的新しい観光施設をふたつ見てまいりました。

ひとつは箱館奉行所です。150年前西洋式要塞五稜郭が作られました。平成22年に復元されました。当時箱館奉行所は、江戸幕府の前線基地として、蝦夷地の統治や諸外国との交渉、箱館戦争の舞台にもなりました。11回生の作家森真沙子さんがたまた

まここを訪れて、着想を得て「箱館奉行書始末」という歴史小説シリーズを刊行されております。

もうひとつは平成23年にオープンした南茅部にある「縄文文化交流センター」です。湯の川から車で30



分あまり、南茅部一帯は9000年前

前から縄文人が住みはじめ、確認されているだけで91箇所、延べ160万㎡の遺跡があるということです。中でも出土した縄文後期(3500年前)の中空土偶は北海道唯一の国宝に指定されており、函館市では「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として世界文化遺産の登録を目指しているそうです。

ひるがえって函館西高は、明治38年4月北海道庁立函館高等学校として開校して以来、来年で110年を迎えます。今までの卒業生の数は、定時制を含めて3万人余りを輩出しています。来年は10月3日(土)に函館で記念行事が計画されております。100周年のときほど大げさにはやりませんが、同窓生の皆さんにもご寄付をお願いして、現役の生徒の学びの役に立つような使い道を考えてまいりたいと思います。

歴史とロマンに満ち溢れたふるさと函館ですが、西高は「遺跡」にならないように、遠くにおいても応援したいものです。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

創立 30 周年

つゝじヶ丘同窓会 東京支部 第 16 回総会・懇親会

日 時 平成 27 年 5 月 16 日 (土曜日)
午前 11 時受付・12 時開宴
場 所 東京都文京区 椿山荘 4F ジュピター
会 費 10,000 円

個人の尊厳を大切に、その人らしさをいつまでも...

- 八王子 特別養護老人ホーム 偕楽園ホーム
- 岐阜 特別養護老人ホーム 瀬戸の里
- 函館 特別養護老人ホーム 戸井湖寿荘
- 岐阜 特別養護老人ホーム みずなみ瀬戸の里
- 岐阜 特別養護老人ホーム ニツ森ホーム

2008年、岐阜の「瀬戸の里」が優良民間福祉施設として天皇陛下より表彰されました。

医療法人社団新谷会 **新谷医院** 東京都府中市朝日町2-30
TEL. 042-361-9419
医学博士 新谷義克 (西高1回生)

◆ 特別寄稿

我が闘病記

藤川 巖(20 回生)

● 60 歳で仕事中に倒れる

2 年前の 2012 年 4 月 24 日、私は仕事中に熱中症から小脳の脳梗塞を併発し、多摩市南部地域病院に救急搬送され、およそ 40 日後の 6 月初めに八王子のリハビリ病院に転院となった。

倒れた日は、その年初めて 25℃ になるという暑い日だった。朝から水分も取らず外での作業で大汗をかき、ちやうど昼になろうかという頃に突然めまいと嘔吐と意識混濁で立っているのがつらくなった。それが、今まで続いていた人生が変化を余儀なくされた、あるいは切断してしまった始まりだった。

普段から血圧が高かったにもかかわらず薬も飲まず、健康に対する過信から無理に無理を重ねていた。それまで少なくとも 3 年間にわたって肉体を酷使し続け、精神的にも疲労が蓄積していたのだと思う。

● 後遺症やリハビリとの闘い

ベッドに身を横たえているだけ

の歩けない日々の中で、突然、仕事や人間関係などあらゆることが停止し中絶した。幸い命は助かったものの、後遺症として船酔いに似ためまいと嘔吐が 1 か月以上続き、また予想外の動きがあった時にも必ずその症状が起こった。何よりもベッドの上で筋肉が失われていき、痩せ細った自分の手足を見るたびに心身ともに大きな喪失感をこれでもかというほど味わうことになった。茫然自失と言う言葉通りの状態だった。

病院の中で私は病人となっていた。知人の一人としていない場所と時間に放りこまれ、他者の手を借りるほかどんな些細なことでもできなかつた。今まで生きてきたプライドが音を立てて崩れ、ひとりの患者にしか過ぎないという事実を納得するほか仕様がなかつた。現在のありのままの自分を認めることでしか、一歩も前に進めないことを嘆くことの無意味さをわからなくてはならなかつた。

が、今になってよくわかる。病院では患者という存在こそが、主役ではあつたのだ。あらゆる自由にはできない病院から脱出するためには、退院という門しか開かれていないのだ。私はこの不自由な体を抱えていくしかないのだ、そこから逃げるのは許されなかつたのだと知った時、私ははじめて泣いた。決意と言うよりあきらめに近い。押さえていたはずの涙があとからあと

から出た。

病棟には基本的に休日はなかつた。病院の職員が見守ってくれる中、脳や言葉の訓練、飲み込みの練習、作業療法、腕、手の機能訓練、歩行訓練などなど、リハビリに懸命に取り組まざるを得ない日々だった。

● 妻の看病や会社の仲間

励まされて

妻は倒れた私の状態に動揺しながらも、入院の手続き他一切に立ち向かってくれた。一生をかけて、ありがとうと言いつけなければならぬだろう。その年の暑い夏、毎日病院に来てくれて、リハビリの間中ベンチに座って私に手を振ってくれたことがどんなに嬉しかったか、とても言葉では言いつくせない。

会社の仲間たちも何度も見舞いに来てくれた。仕事関係の人たちも右上下肢と言葉が大丈夫なのだから、良くなったら復帰しようと言ってくれたのはとても嬉しかった。しかし、私は自分が前のように、同



じようにはなし得ないということ。が分かり過ぎるほど分かつていた。そんな中で、自己をどのようにも保つことはできないという判断で退社することに決めた。そして、会社に協力してもらいたい何とか労災認定してもらおうことができたのは、苦しい中でも嬉しいことだった。

同じ病室の仲間たちにも感謝している。労災認定のために 4 時間に及ぶ担当官による質疑に疲労し、夕食後に意識を失った私をナースに知らせ、何とか車椅子に乗せて、ベッドまで運んでくれた。みんな似た症状を持っていたからお互いの苦しさや、悔しさを判ることができた。人の心というものを大事にする大いなる真実に眼を開かせられた。

結局、リハビリ病院に移ってから半年後の 2012 年 11 月 27 日に退院することができた。それから 1 年後の 2013 年の年末で退職することを決め、仕事が好きだった我が人生の一区切りとした。

● 退職後の人生

現在は、介護度 3 の障害者として杖をつき、図書館への散歩を兼ねたリハビリの中で幾人かの知人を得ることができた。移動することによって人と出会うことが、私にとつて人生に意味を与えてくれることだと思えるようになった。デイサービスには、月、水、土と一週間に 3 日通い、今 62 歳の私は、彼らの中では一番若いのが妙な気分である。

ある朝、目が覚めたら、何事もなかったように身体に違和感がなく、大きく腕を振り上げてあくびする、そんな朝を迎えることがたとえ秘かな夢であろうとも、自分を引き受ける以外に私が私であることはいだろ。そんなことをゆつたりと思ったりする。

◆ 投稿 ◆

『そのみにて光輝く』を観て

高橋 順吉 (17 回生)

テアトル新宿のロードショー初日(4月19日)を狙いましたが、考え甘く初日、2日目とも切符は完売でした。住まいの柏近くに映画館があると聞いたので調べてみると、流山おおたかの森SCに「TOHOシネマ」という映写室が10室ある映画館がありました。電話を入れたら4月23日はレディースデーで多いでしょうが満席にはならないでしょうというので、自転車で向かいました。意外と年配の方が多く、男性も多い感じでした。事前に原作とは多少異なる聞いていましたが、一つの小説を短時



間の映画に収めるには脚本も相当苦勞が有ったと思います。人物描写が難しいと思っていました。綾野剛・池脇千鶴・菅田将暉の演技力が素晴らしかったと感じました。原作での個々の思いは丁寧に表現されていたと思います。特に菅田将暉の存在感は若い役者の特徴を旨く引き出したと感じました。

函館は元々海運と漁業で栄えた街で遊興関係が多かった所です。芥川賞独特な明るさの少ない物語ですが、正義と悪ではなく誰でも抱えている重い悩みを丁寧に表現しているなと感じました。呉美保監督の思いを出演者の方々がしっかりと受け止めてくれたと思います。

原作では、千夏の自宅は大森海岸

(砂山)だったと思いますが、映画撮影は函館の良い映像を残そうと制作者の思いを強く感じさせられ色々悩んだ様子がわかりました。映画の設定では千夏の家が七重浜で、町内のお祭りが船見町の「山上大神宮」で、チャチャ登りを自転車で降りるなど、函館には絵になる景色が沢山あることを実感しました。「山上大神宮」は私の実家から3分のところであり、お祭りを子供神輿を含め毎年楽しみにしていた記憶があります。

最後の字幕で「佐藤泰志」の名を見て4月5日のイベントに「泰志さんの長女の朝海さん、長男の綱男さん一家が来場」された事を思い出し、不覚にも涙が流れるのを止められませんでした。今後、芥川賞に負けないようなヒット作品となることを期待しています。

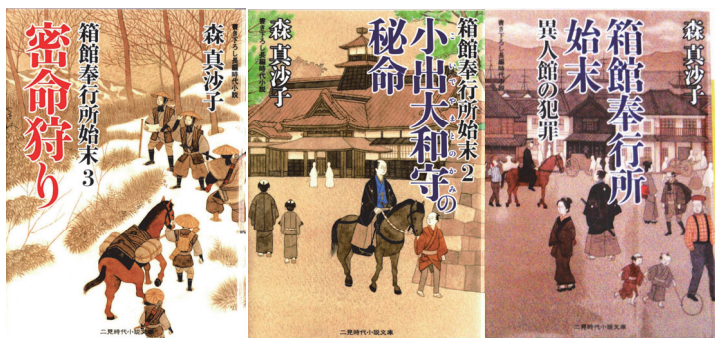
森真沙子著(作家・11回生) 『箱館奉行所始末』を読んで

井田 ゆき子 (20 回生)

幕末の箱館にタイムトリップ

函館を郷里に持つ人なら無論、函館に縁のある人にも、ぜひ読んでほしい1冊である。

幕末(1864年)の箱館を舞台に、江



きいきと活写されているのも興味深く、嬉しい。

蝦夷箱館を辺鄙な北の島と想像し、自分の身の上を島流しとも思っでやってきた幸四郎だが、"だだっ広いその道幅いっぱい、まるで祭りの日のように通行人や荷を積んだ大八車が埋めている。おまけに道行く人の半分以上は異人で、その数の多さ、身体の大きさ、騒がしさに圧倒された"と活気あふれる街の様子に驚く。

当時の箱館は、ペリー来航による日米和親条約の締結と開港からすでに10年。洋館が建ち並び、異人が闊歩する最先端の国際都市だったのだ。しかも、幕府の天領(直轄地)

戸から赴任してきた箱館奉行所調役の支倉幸四郎が、出会う人々や出来事、事件を描いた作品だ。幕末の箱館の様子や風物がい

となったので、役人も文化も江戸から直接入ってきていた。旗本の家に生まれた生粋の江戸っ子、幸四郎の眼を通して語られる、箱館ならではの風土や気候、風物は新鮮な驚きと感動に満ちている。箱館人としては、そうした描写のひとつひとつに頷きたくなるころだろう。ちなみに、箱館が函館になったのは、蝦夷が北海道と改められた明治 2 年のことだという。

物語は主人公の幸四郎と凄腕の箱館奉行・小出大和守を軸にミステリー仕立てで進む。この頃、箱館には英、米、露、仏、独など各国の領事館員をはじめ、開港による本州からの商人の出入りも多く、臥牛山麓の遊郭には妓楼が薨を連れ、花魁や遊女たちが色香をふりまき、近郊にはアイヌ居住地もあり、多彩な人々が暮らしていた。それらの人びとが巻き起こす事件やトラブルが 1 話完結、1 巻 5 話で構成されている。とりわけ興味深く読んだのは、英人がアイヌの墓を暴いて人骨を盗掘した実在の事件を題材にした 1 巻目第 5 話『盗まれた人骨』だ。常々、ロンドンの大英博物館にアイヌの人骨が所蔵されているのを不思議に思っていたので、その理由が氷解した。2 巻目第 4 話『海吠え』には、土佐藩浪士、門馬豪助が登場する。実在の人物なのか、あるいはモデルがいるのか。知りたくなったのは、魅力的な人物造形の故である。本書は著者も後書きで語っているように、実在の人物や歴史上の事件を題材にしており、箱館の歴史をひも解くきっかけにもなりそう。現在までに 3 巻が刊行され、著者の代表作『日本橋物語』を超える人気シリーズとなるよう期待したい。

また、4 年前に復元された箱館奉行所では、「地図を見ながら歩く、奉行所があった時代の箱館」という講座も開催しているという。本書を読んだから参加すれば、面白さ、楽しさが倍増することだろう。

* * *

札幌ドーム

ファイターズ応援記

野口 卓史(27 回生)

道産子ならファイターズということで、この 7 月 12 日、13 日と札幌ドームまで応援に行ってきました。

この金曜日から首位ソフトバンクをホームに迎えての 3 連戦です。ここまで 7 月にはいり 6 勝 2 敗と何とか持ち直してきところで、しかもこの 3 連戦は、チケット購入者に漏れなくファイターズのユニフォームプレゼント付きという、大変ラッキーなチャンスなのです。知人のファイターズファンクラブの息子さんにチケットをお願いし、チケットサイトに中々繋がらない中、やっと手に入れてもらったプレミアム

チケットです。ところが札幌入り前日の 11 日の金曜日、終盤中継ぎ、救援陣が投壊し大敗、いやなムードを引きずっての 2 戦目となりました。

昼前に千歳に着き、まっすぐバスで札幌ドームへ。球場で函館から来た女房と合流。中々待ち合わせのゲートに辿り着かず、ちよっぴり難儀しましたが無事合流、とりあえず弁当とビールを買って席へ。奮発して土曜は内野指定です。さっそくもらったファイターズユニフォーム着

て、練習見ながら弁当食べ、3 時のプレーボール。先発は久しぶりのハケンチ王子の斎藤祐樹。中々緊迫したゲーム展開でしたが、何とか勝ち越して中継ぎ陣へ、祐ちゃんを勝たせたいとファン一丸となって応援するも、またもや中継ぎ陣が終盤撃ち込まれ、ほぼファイターズ一色の休場は悲鳴とため息の渦に。残念ながら祐ちゃんの勝利はおあずけに。



残念でした。試合のあと花火大会もあり、3000 がドームの夜空を彩りました。勝

れば一層盛り上がりつつあったのに本当に残念です。帰りの地下鉄駅まで長く感じました。

泊りは中心部のホテルがとれなく北二十四条駅近くに。大学時代に 2 年間通学に使った駅なので、懐かしかったです。北二十四条は、北の「すすきの」ともよばれていましたが、どうでしょうか。ホテルにチェックイン後近場の居酒屋に。女房とふたりの残念会に。いろいろ食べましたが中々おいしかったですよ。

翌日曜、何とか勝って欲しいと球場へ。また練習時間からビール飲み始めましたが、やっとなんとか勝って一層ビールがおいしかったです。やはりホークスは強かったですが、何とか一矢を報いてくれて良かったです。終わり良ければ全てよしというので。女房と球場で別れ、千歳行きのバスに。千歳で旭川ラーメンを食べて、羽田へ。

帰りのモノレールで何人かファイターズのユニフォームを着ている人を見掛け嬉しくなりました。かく言う私もユニフォームを着たまま来ましたね。勝ちゲームも見られ、疲れましたが楽しい 2 日間でした。なかなか札幌まで行けないにしろ、関東でファイターズのゲームがある時にはまた応援に行きたいと思えます。皆様も道産子チームのファイターズの応援お願いします。ついでじゃないけどコンサドーレも応援お願いします。(了)

◆ 回生だより

9 回生 関東旅行会便り

4 月 9 日の関東旅行会は、熱海の山の上のホテルでした。関東を中心に函館や大阪から 32 名の参加。南国風のロビーで久しぶりの面談を楽しみ、露天風呂を上って幹事室に集まり函館弁が飛び交います。

夕食は品数も豊富で、近くで採れた野菜のてんぷらが注文でき好評、またお汁粉も人気。さらに 9 時過ぎからの二次会は幹事室で飲食と歓談です。函館から持ち込んだ肴をつまみに、特に「イカの粕漬け」が絶賛されました。

翌日も好天、熱海駅からグリーンに乗り込む、その賑やかなこと、昨晚あんなにしゃべったのに、良く続くものですね。改築なった東京駅中のホテル 2 階「とらや」でおしゃれな昼食と甘味を戴きました。孫や家族への土産を携えて、いそいそと帰り支度の人、さらに「はとバス観光」へ向かう元気な 74 才もおりました。何とか顔を合わせ、悪口言い合えるうちが華、来年もまた会おうね。

(徳田 紀美子)

14 回生 同期旅行 3 日光

14 回生は 2 年に一度、総会の裏年に旅行会を実施してきました。今



近間の日光を中心に 5 月 18 日からの 2 泊旅行としました。

参加者は 23 名、札幌、函館、仙台、郡山、静岡、名古屋からも参加がありました。北海道の方々は羽田空港までお出迎え、東武日光駅を基点に全行程自家用車 6 台に分乗して、明智平、湯元温泉、足尾銅山遺構、大猷院と二荒山(ふたらさん)神社、田母沢御用邸記念公園、日光東照宮と輪王寺、栃木市蔵の町と盛り沢山な観光をしました。夜は 2 泊とも三代会までやり旧交を温めました。3 日間とも好天に恵まれ、充実した旅行を堪能しました。

(若林 郁雄)

女子高 2 回生 二年振り開催

爽やかな五月晴れの 23 日、同期会を新宿中村屋レストランで開催しました。二年振りでした。前回と変

で、たし方面仙台、泉、て平、かね、援を北支は東前回、目、4 回

わりない 19 名は元気で再会を喜び合いました。四時間足らずでしたが、お互いの近況を語り合いました。女学校時代の思い出話に特に熱がこもった様でした。

尚、次回同期会に付いては恒例の椿山荘での同窓会の二次会を、同期会生の集い”にしてはどうか・・・との提案などもありました。

(田村 絢子)

13 回生 今年初の 3 8 会

5 月 28 日水曜日、3 8 会を「ピヤダイニングライオン汐留」で久々に開催しました。今回は、13 時開催と割と早めに始めてみましたが、17 名の参加で相変わらずワイワイガヤと二時間を楽しみ、二次会(いつものカラオケ)と三次会にも繰りだし、終わっても 20 時前と健康的な時間設定でした。皆さんも今度からは 12 時スタートを計画します。今年



10 月には函館での同期会がありましたが、既に案内が着いている方が居り再確認し、皆でカンパを函館に送りました。

(斉藤 勝美)

32 回生 赤坂で同期会

9 月 21 日、同期会を赤坂のホテルにて開きました。北海道、名古屋、栃木県など各地から計 14 名集まり、今年には女性陣の多数参加で華やかな場となりました。当日は、晴天・大安。ホテルでは、結婚式の飾り付けもされていきました。13 時開始予定でしたが、12 時頃にはすでに半数以上が吉田先生を囲んでくつろいでいました。

吉田先生のお誕生日、初参加の福富さんのお誕生日、函館での同期会の幹事の坂本さんへのありがとうの意を込めまして、お取り寄せのメ

ロンショ
ートケー
キを味わ
うイベン
トもあり
盛り上が
りました。
またお会
いできる
日を楽し
みに解散
しました。
(佐々木 雅子)

18 回生 にし会開催(湯の川)

10月18日18時から、湯の川温泉「花びしホテル」で125名の出席で同期会が開催された。5年振りの記念撮影に少し戸惑いながら始まりました。陳「にし会」会長、恩師で来賓の川上先生のご挨拶があり、我々より一回り上の丑年で今でも教育大の講師をされていて、如何に元氣な年寄を続けられるかというお話に全員の拍手が止まなかった。

乾杯の後、懇談に入り若干男が多い中、卒業以来47年振りに会った奴とか、大病して生死の境から帰還した奴とか、いろんな事情を抱えた65歳が若い者に負けないくらい一生懸命話をしている光景は圧巻だった。抽選会に一喜一憂後、記念撮影



写真を受け取り、21時少し前お開きになり、また何年後かの再開を誓って、それぞれ二次会会場に移動した。

(佐藤 雅英)

17 回生 同期旅行会 三箱根

今回は東京支部の同期で箱根一泊旅行を決めていましたが、函館の同期(7名)も参加を希望したため、合同旅行となりました。紅葉の箱根路を満喫しようと思っていました。が、あいにくの雨模様でロマンスカー、旧東海道散策、海賊船乗船、ロープウェーなどはほとんど霧と雨の中でしたが、一部紅葉が見られ何とか紅葉狩り風にできました。

今回は、卒業以来の初参加者、数年間の介護を終え同期会に復帰する人、仕事を終え宴会に駆けつけてくれた人等うれしい同期会となりました。



ました。カラオケをやめ心ゆくまで懇談をしましたが、話が尽きなく二次会も大いに懇親を深めた一夜

となりました。

翌日も雨で観光は取りやめてピョン大会に切り替え、往年の卓球部も形無し、全員ゼイゼイしながら楽しめました。体調不良を理由に参加を断念する同期も出てくる世代となってきましたが、人生80年今後元気で再会しようという誓い同期旅行会を終えました。来年の同窓会には数名増えそうです。(竹澤 秀明)

☆ ☆ ☆

年会費振込用紙からの伝言

戸根 幸子(高女34) いつも何かとお便りありがとうございます。【編集部注：振込後、7月4日に逝去されました。御親族より連絡がありました】原田 美恵子(高女34) 転居いたしました。次回よりこちらに郵送をお願いします。

佐々木 トヨ子(高女39) 高女卒が少なくなつて、さびしいですね。鈴木 八重子(高女39) 会報楽しみにしています。

上村 ミチ(高女40) 何時もお世話様になります。宜しくお願ひします。堤 洲子(高女40) 大変おくれまして申し訳ありません。

太田 良子(西1) 「つつじヶ丘だより」都度楽しみに拝見致しております。末永く続きますよう、ご発展を念じております。

安田 千恵子(西2) 会報、懐かしく楽しく拝見いたしました。皆様のご尽力に心より感謝。お礼申し上げます。伊藤 欣子(西2) 第16回総会・懇親会が楽しみです。歌の方は今でも健在です。校歌を歌います。

北島 松太郎(西2) 体調が悪く(眼・腰)外出出来ませんので、会報のみ送付願ひします。

加藤 東郎(西3) リタイア生活、...に、読書に楽しんでいきます。お元氣にお過ごしください。

橋本 力(西3) お世話になります。ありがとうございます。

小島 将(西3) 折にふれ、ご案内頂き、ありがとうございます。

原 加代子(西3) 暑い日が続きます。どうぞお元氣で。

保田 弥寿彦(西4) いつもお世話さんです。「たより東京」ありがとうございます。

斎藤 隆平(西4) 連絡ありがとうございます。本年のみで退会させていただきます。

宮崎 繁(西4) テーブル毎に配膳を希望する。

粕谷 陽子(西5) 同窓会の益々のご発展を祈念いたします。

尾島 由紀(西6) いつも楽しく拝読しております。12号の清野氏の回想は、日本水産・八戸・南部藩など我が家ともかわり深い単語が沢山あり、特に懐かしく読ませて頂きました。次号も楽しみにしております。

寺本 日出子(西10) 夫寺本祐三(西8)は、平成24年1月21日に亡くなりました。お世話になりました事御礼申し上げます。

お世話になりました事御礼申し上げます。

水野孝雄（西 11）足腰のしつかりした内にと、国内の天体観望会実施や海外での世界遺産めぐりにと、飛び回っています。

布施健堂（西 12）6 月 24 日（火）札幌の京王プラザホテルで、12 回生の同期会があり、71 名参加しました。盛会でした。

浜谷弘（西 14）（回生）現在介護認定され、病弱ながらリハビリに精進しています。元気な身体になって、参加したいです。

村本茂子（西 14）いつもお世話さまです。賞味期限切れの体をダマシダマシ・・・。気持ちだけは西高生の頃のもりで頑張っています。

角田優子（西 14）つゝじヶ丘だより東京のご送付ありがとうございました。熟読させて頂きました。新橋新年会の写真の中に、なつかしいお顔を拝見いたしました・・・。忙しく働いています。

深沢和子（西 14）いつもお世話様です。

夏井秀夫（西 16）ご苦労さまです。工藤暁則子（西 16）夫婦ですので、連絡は一部でお願いします。

谷杉栄策（西 17）住居表示が変更となりました。

鴻池佳衣子（西 17）お世話になりました。今回で終わりにして下さい。

土橋真由美（西 18）住所変更がありますので、お願いします。岩瀬友子（西 18）いつもありがとうございます。小川裕（西 19）住所変わりました。佐藤光恵（西 19）役員の皆様、いつもありがとうございます。

桜井雅幸（西 20）住所変更の願い。野口孝子（西 24）皆様、お元気の事と存じます。益々、充実した会報、読ませて頂きました。どうもありがとうございます。

中川喜久則（西 31）お元気ですか？こちらに来てからもう 1 年になります。私は元気に頑張っています。皆様に宜しくお伝え下さい。住所変更お願い致します。

長谷川好広（西 32）住所変更しました。

他校同窓会との交流

関東青雲同窓会

会長 佐々木太郎（14 回生）

5 月 31 日（土）、ホテルグランドアーク半蔵門で開催された函館東高の同窓会総会・懇親会に、新谷名誉会長とともに出席してまいりました。今回は第 30 回の記念総会であり、過去最高の 170 名近くの出席者でにぎわいました。懇親会の進め方は、集合写真撮影に始まり、会長挨拶、来賓挨拶、乾杯の後歓談、抽選会があり、校歌応援歌斉唱、幹事の引継ぎ式で終了という内容でした。

総会の幹事は 32 回生（昭和 57 年卒）で、41 名の大量出席でした。昨年の総会で 32 回生の出席は 5 名だったそうですから、幹事期の活動は

総会に人を集めるための大きな原動力となっているようです。

函館ラ・サール高校同窓会東京支部総会

広報部長 若林郁雄（14 回生）

6 月 21 日、水天宮前のロイヤルパークホテルで行われた函館ラ・サール高校の東京支部総会に、佐々木会長と出席してまいりました。函館ラ・サールはカソリックのラサール会により昭和 35 年に創立され、今年開校 54 年を迎える男子中・高校です。第 1 部が総会、理事長の記念講話と教頭先生の講演があり、第 2 部が懇親会です。在函他校の来賓は函館西高と中部だけで来賓のみ着席、一般の参加者は立席のパーティで、主なアトラクションは函館往復ペアクケットが当たるじゃんけん大会でした。懇親会後、2 期生の二次会に参加しましたが、人形町の居酒屋「北海道」がラ・サール同窓生で貸切り状態、ここでも豪快な飲みっぷりでした。

函館商業高等学校東京同窓会懇親会

事務局長 齋藤勝美（13 回生）

6 月 28 日、両国の第一ホテル両国清澄の間にて行われた函館商業高等学校東京支部同窓会懇親会に、

小林多美（24 回生）常任幹事と出席してまいりました。

函商（ハコシヨウ）の総会は同窓生のみで約 30 分行われ、その後来賓を含めた懇親会と成っております。函商は今年開校 128 周年だそう、2 年後 130 周年を迎える函館の高校では一番古い学校です。

懇親会は、若手女性の司会者で、一番若い出席者（新制 64 回生）が紹介されると歓声が上がりました。また、初めて出席された三名の方が壇上上がり紹介と記念品を渡されていました。余興としては、場所柄相撲甚句の 4 名の歌い手が社会現象（振り込み詐欺）の歌詞等の甚句を素晴らしい声で聞かせて頂きました。その後恒例の抽選会が有り、校歌・応援歌でお開きでした。

函館工業高校同窓会関東支部総会・懇親会

学年幹事長 竹澤秀明（17 回生）

10 月 18 日（土）函工の関東地区同窓会に齋藤事務局長と出席しました。出席者は、会員 67 名、来賓 13 名の合計 80 名で、前半は総会が行われ、前期の収支決算が赤字となった報告と会員に対しその補填の募金をお願いしていましたが司会の方のキャラクターもあり深刻にならず進みました。

西高同様高齢化が進み年配の会員が目立つなか、昨年の卒業生 2 名、

今年の卒業生1名が参加しており、特に2名は女性でした。さすがに各会員も若い会員の参加に沸き立ち、司会の方からも今後参加を願いますと大事に接していたのが印象に残りました。ちよつと羨ましく感じました。その後クイズや抽選会で盛り上がり、最後にお決まりの応援歌と校歌三唱と三々七拍子で締めお開きとなりました。我が同窓会も新人会員の勧誘が急務と考えさせられた一日でした。

東京支部ゴルフ会報告

10月17日(金)千葉廣済堂カントリー倶楽部にて第二回のゴルフ会を開催いたしました。参加人数は13名でした。以前女子プロの大会が



開かれた会場ということですが、少々苦戦をしていましたが、スコアーに關係なく当日の晴天のように皆さん楽しくプレーをされていました。優勝は現在西高OB最強と思われる森英爾(9)さん、準優勝は竹澤秀明(17)、3位は大久保吉郎(13)さんでした。

ゴルフに多少でも関心のある方は、来年のゴルフ会に参加し同窓会総会・同期会とは違う同窓生懇親を楽しみましょう。今回4名の初参加があり、来年につながると思っております。特に女性の参加をお待ちしております。気軽にお電話ください。

世話人 三村寿雄(13回生)
090・8513・4497
竹澤秀明(17回生)
090・6797・7092

◆事務局活動報告

事務局長 斉藤勝美(13回生)

(平成26年5月〜平成26年10月)今年総会の無い年のため、大きな議題が少ない半期でした。

- 1 第13号会報発行について
会報発行は11月29日とし、会報会議を広報部中心に3回開催。
- 2 創立110周年記念事業協賛金募金への対応について協議。
- 3 「第16回総会・懇親会」開催計画について検討。

4. 次回学年幹事会(平成27年2月21日(土))について協議。

物故会員

平成26年10月末までに事務局へご連絡を頂いた物故された会員です。ご冥福をお祈りいたします。

外山 久子様(高女32)、戸根 幸子様(高女34)、大塚 洋子様(高女40)、渡辺 れい子様(女高1)、角谷 八郎様(1)、森 茂様(1)、川瀬 道子様(2)、源 勉様(2)、和泉 博様(3)、渡辺 郁誉様(6)、寺谷 祐三様(8)、度会 明夫様(9)、升田 理絵様(27)。

会員の皆様にお願ひ

東京支部活動の充実のために年会費(2千円)納入にご協力を

同窓会は年会費と総会・懇親会費で運営されています。同窓会活動を今後とも維持・活性化していくために、会員の皆様のご支援を宜しくお願ひ申し上げます。

☆同期会開催補助(年一回)

のお知らせ

東京支部では、同期会の活性化を目的に平成24年より、会員が同期会を開催した場合に、開催報告をホー

ムページに掲載することを条件に年一回五千円の補助をしておりす。既に二桁の回生がこれを利用しております。

補助を受けるには、申請書を提出する必要があります。補助の申請書は東京支部ホームページからダウンロードすることが出来ます。

《編集後記》

○ 今年も早や師走を迎えるな一と思ひながら編集後記を書いていましたら突然「総選挙」なる報道が飛込んで来て啞然としてるところです。さて、同窓の皆様に於きましてはいろいろな領域でご活躍のことと存じます。

○ 今号では前号の編集後記でお願いしました、函館出身者まつわる出版物や映画についての寄稿・投稿が寄せられ、有難うございました。なお、森真沙子さんの「箱館奉行所始末」の佐々木会長による解説的文章が東京支部HPにアップされておりますので合わせてご覧ください。

○ さらに、藤川徹(20回生)さんから、特別寄稿「我が闘病記」が寄せられました。我々同世代にとつて、いつも心の片隅に置いていた不安の「現実」を読ませていただきました。リハビリでの回復を心からお祈りいたします。

○ 次号は東京支部「第16回総会・懇親会」特集号になります。皆様の「投稿・寄稿」をお待ちしています。(若林郁雄 14回生)